



就農計画を検討する大森氏

概要

◆氏名・所在地

大森 洋平氏 岡山県久米南町

◆研修開始年

令和7年9月（農業体験研修）

◆研修内容

ぶどうの収穫や選果作業、地域との交流など1か月間の農業体験研修を修了し、令和7年11月から2年間の農業実務研修に取り組んでいる。

1

就農相談までの背景

大学を卒業後、一般企業で働いていたが、農業を営んでいた祖父のように農業経営をしたいと考えようになった。

その後、ぶどう農家でのアルバイトを通じて就農への思いを強くし、岡山県農業経営・就農支援センターが共催実施する就農相談会を経て、県内各地域の就農オリエンテーションに参加し、産地訪問を重ね、久米南町に就農地を決め、窓口である「美作広域農業普及指導センター（以下「普及指導センター」という。）へ相談した。

2

相談内容

久米南町でぶどう栽培による新規就農を目指すのにあたり、就農までの流れ（手順）や栽培技術の習得方法、農地や住居の確保、補助事業などの支援制度等について具体的に知りたい。

また、就農し、地域で生活していく際のポイントがあれば教えてほしい。

3

支援内容

●研修制度の紹介

農業経営・就農支援センターでは、就農までのプロセス、1か月間の農業体験研修、2年以内の農業実務研修といった段階的に就農まで進むことができる県独自の研修制度を窓口の普及指導センターを通じて紹介した。

また、研修中に活用できる就農準備資金や経営開始資金等についても説明した。

●就農までのスケジュール案の提供

農業体験研修から農業実務研修修了後、就農までのスケジュール案を提供し、就農までに準備する内容や時期を説明した。

●関係機関との連携による取組

新規就農者の受入れを進めている久米南町、JA晴れの国岡山、久米南ぶどう部会と普及指導センターが密接に連携し、研修先の農家の選定、農業体験研修のサポートを行った。

●2年間の農業実務研修へ

就農準備資金も活用しながら、令和7年11月から2年間の農業実務研修に進み、就農時に栽培面積40aを目標に、農地の確保を支援していく。



農業体験研修開始式



津山地域就農オリエンテーションへの参加

今後の意気込み

ぶどう農家として独り立ちできるように、この農業実務研修中に栽培技術を習得していくとともに、地域の方々と積極的にコミュニケーションをとって、地域に溶け込めるようにしたいと思っています。

専属スタッフ所感

就農を志してから県内産地を訪問し、久米南町に何度も訪問し、時間をかけて就農地を決められました。

現在、農業実務研修中ですが、人間関係を構築していたため、受入農家や部会との関係も良好です。

今後もスムーズな就農に向けて、市町、JA、生産部会、普及指導センターなどが連携して支援を行ってきます。